

報道関係者 各位

【照会先】

長野労働局労働基準部監督課
課長 森 孝行
○荷主特別対策担当官 岩國 眞一郎
(電話) 026-223-0553

運送業における2024年問題の解消に資するよう、物流サービスを行う

「ベストプラクティス企業」を長野労働局長（^{ひさどみやすお}久富康生）と長野運輸支局長
^{やまぎしただまさ}（山岸忠政）が訪問します。（合同での訪問・意見交換は『県内初』）

1 訪問日時

令和5年11月14日（火）午前9時30分から約2時間（予定）

2 訪問先

株式会社マルイチ産商 5階会議室 長野市市場3番地48

3 ベストプラクティス対象企業

- (1) 株式会社マルイチ産商（荷主）
- (2) マルイチ・ロジスティクス・サービス株式会社（倉庫業）
- (3) 中央運輸株式会社（運送業）

4 目的

2024年問題解消に向けて、荷主・運送関係事業者が一体となって、物流事業の安定化と改善の推進に取り組み、自動車運転者の長時間労働の削減に努めている状況を把握し、好事例として収集・発信します。

5 実施事項

- (1) ベストプラクティス企業選定証授与
- (2) ベストプラクティス企業による取組説明
- (3) ベストプラクティス企業代表者、長野労働局長及び長野運輸支局長による意見交換

※ 訪問日前の、関係者に対する取材はお控えいただくようお願いします。

当日取材を希望される報道機関の方は、11月10日(金)までに、長野労働局労働基準部
監督課(担当岩國)までお願いします。

(メール kantokuka-naganokyoku@mhlw.go.jp 又は 026-223-0553)



ベストプラクティス企業3社の事業概要

株式会社 マルイチ産商
所在地：長野市市場3番地48 代表取締役：柏木 康全
労働者数：552名(令和5年9月30日時点) 業種：食品類の卸売業

マルイチ・ロジスティクス・サービス株式会社
所在地：長野市市場3番地48 代表取締役：宮島 雄二
労働者数：269名(令和5年9月30日時点) 業種：倉庫業・物流受託事業

中央運輸株式会社
所在地：長野市大字川合新田3487 代表取締役：青木 智子
労働者数：69名(令和5年9月30日時点) 業種：貨物運送業

【3社一体となった主な取組例】

卸(荷主)  マルイチ産商	物流会社  MLS	運送業者	中央運輸
役割：サプライチェーン全体最適化 仕入先、販売先と調整 取組：共同配送、マテハン統一	役割：荷主と運送事業者を繋ぎ、 物流工程をコーディネート 取組：荷主と連携し荷役業務改善	役割：安定した輸配送の構築 取組：ドライバー付帯業務削減	

改善・取り組み事例 ①納品先専用マテハン活用

<取り組み内容>

得意先店舗様への納品時に使用するマテハンを納品先様仕様に出荷時から統一し、納品時の積替え作業を廃止。

マルイチ	得意先様と物流面でも取り組み強化(物流機能維持・強化) 店舗納品滞在時間短縮/店舗後工程との連携	<定量面の効果> ドライバーの納品先滞在時間短縮 1日:20時間短縮 1店舗▲30分/日×40店 年間⇒7,000時間の短縮
MLS	荷主からの要件と物流業務カイゼンにつながる業務設計と運用管理	
中央運輸	MLSと設計した運用要件に基づく実装とそのフィードバック(更なるカイゼンへ)	

